

Vol.12

徳島工場が
紹介します!

あなたのまわりの

面白がりクラボウ人

さあ、
面白がろう。

“仕事を面白がる”とは「既存の枠を壊して新しいことに挑戦し、自ら何かを変えていくこと」。
この企画では「この人こそ面白がって仕事をしている!」と思う人を紹介してもらいます。

「面白がり」6項目

1. 既存の枠にとらわれず、いつも新しいアイデアを追求しよう。
2. 広く好奇心を持ち、いろんなことに飛び込んでいこう。
3. 互いの個性を受け入れ、どんどん意見をぶつけ合おう。
4. 一度やると決めたことは、情熱を持ってやり遂げよう。
5. だれかを驚かせ、喜ばせ、ワクワクさせよう。
6. 未来の社会に役立つものを生み出していこう。

面白がり
クラボウ人

やまみ ゆうじ
山三 勇治さん
徳島工場
加工技術課
(2004年入社)



日々の努力から生まれる非凡な発想力

山三さんは数か月前に、仕上げ加工の現場から異動され、現在は「仕上げ処方」の開発を担当しています。この仕事は、100種類以上ある仕上げ剤(生地加工用の薬剤)の中から、お客さまが求める仕様に適したものを選定し、調合して仕上げの処方(レシピ)を決めるというものです。山三さんは、勉強熱心で几帳面な性格もあってか、ものすごい早さで技

術を習得し、すでに全ての仕上げ剤を把握するまでになっています。そして先日、ある生地の開発案件を進めていた際、これまで常識だったやり方では染色した生地が色落ちてしまうという問題が生じたのですが、山三さんはまったく新しい処方と工程を考え出し、見事に新しい生地を開発することができました。「その手があったか!」と私も非常に感心すると同時に、現場を知り尽くし、いつも薬品リスト表を見てはその成分を頭に叩き込んでいる努力家の彼だからこそ成し得たことだと感じました。今後も「面白いモノ」を生み出してくれると期待しています。

●面白がりポイント

常に薬剤の研究や技術の習得を怠らず、要求を超える素材を生み出そうとする姿勢です。



自動調液装置で
仕上げ処方の試験を行う

紹介者



おおひがし たつじ
大東 達司さん
徳島工場
加工技術課
(1998年入社)



製販一体で作り上げた
ユニフォーム生地

溢れ出る情熱、突き進む人

村佐さんと初めて一緒に仕事したのは、サンプル生地づくりの時でした。営業担当の村佐さんと工場の技術担当として、生地にどういった加工を施してどれくらいの性能が欲しいかなど、意見を交わしました。村佐さんは加工の専門領域の知識も貪欲に吸収しようとする方で、よく「それはなぜ?」「なぜそうなるの?」という質問をしてこられました。私はそのような営業担当にお会いしたのは初めてだったので、強く印象に残っています。また、ある大口案件のコンペに臨もうとした際も、「前回はなぜ勝てなかったのか?」と村佐さんが徹底的に分析。今回はどの機能を重視するかなど、工場と営業で何度も試行錯誤を重ね、見事案件を勝ち取れた時は本当にうれしかったです。非常に難しい加工を要したため

面白がり
クラボウ人

むらさ ひろあき
村佐 浩章さん
東京支社
東京ユニフォーム課
(2012年入社)



納期ギリギリでしたが「間に合わなければ私が工場へ取りに行き、お客さまに納品して来ます!」と言われた時は、村佐さんの仕事への本気度を改めて感じました。

●面白がりポイント

メールのやり取りからも情熱がそのまま伝わってくるような仕事に対する取り組み方です。

紹介者



もりもと まさひろ
森本 将弘さん
徳島工場
加工技術課
(2018年入社)